

耐震等級判定書

物件名： XXXXXXXXXX 様邸

物件No： S XXXXXXXXXX

この度は、設計検査をご依頼頂き、誠にありがとうございます。つきましては、耐震等級のチェックが終了しましたのでご報告致します。

注意) 判定書発行後に変更が生じた場合は、再計算が必要となり、納期 (N+3) を頂くことになります。ご了承のほど、お願い致します。

結果： 耐震等級 3 相当を満たしております。

■添付書類 (SS加盟店様サポート図書)

耐震等級チェックシート	…各計算結果を記載しています
壁量等計算表	…建物諸元を記載しています。
壁量計算図	…耐力壁の倍率、実長を記載しています
壁・柱伏図	…引抜き力、耐力壁、準耐力壁の位置を記載しています
水平構面図	…水平構面と必要な施行方法を記載しています
柱位置詳細図	…構造上主要な柱位置、間崩れ寸法を記載しています
壁量計算書 (表1)	…令46条の壁量と釣り合いの計算書
壁量計算書 (表3)	…性能表示基準の壁量計算書
床倍率 (表6)	…床倍率及び床梁・小屋梁の接合部チェックの計算書
N値計算書 (表7-2)	…N値計算による柱頭柱脚接合部の計算書
床構面仕様 (リスト2、3)	…本物件で使用する床構面、及び接合部の倍率

設計検査にてご提供するSS加盟店様サポート図書は、SS加盟店様よりご提示頂いた設計条件に基づいて作成しております。確認申請図書としてご利用される際には、設計者様にて再度、内容を確認した上でご捺印頂き、ご利用頂きます様、よろしくお願い致します。

株式会社LIXIL

検図者

2025/5/17

清水

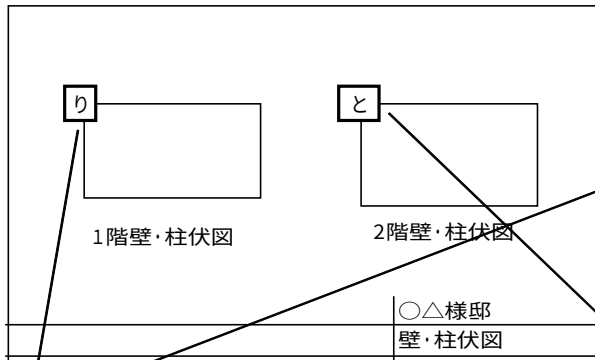
◆ビルダー様 各位
プレカット工場様へ、
プレカット作図の依頼を
して頂きますよう、お願い
致します。

柱頭・柱脚の接合部について

柱の納まりは『柱勝ち』、『柱負け』、『通し柱』の3種類あります。それぞれで柱頭、柱脚に必要な金物の個数が異なりますので壁・柱伏図、N値計算書を下記のよう読み取って頂き、適宜柱頭、柱脚に必要な金物を配置して下さい。

【壁・柱伏図、N値計算書の読み方の解説】

壁・柱伏図の表示



N値計算書の表示

1階	2階
り	と

り (25kN) を配置する箇所

1階柱頭の納まり	柱頭、柱脚金物配置	参考図
管柱	柱勝ち	柱脚のみ 図 1
	柱負け	柱頭、柱脚 図 2
通し柱	柱脚のみ	図 3

と (15kN) を配置する箇所

1階柱頭の納まり	柱頭、柱脚金物配置	参考図
管柱	柱勝ち	柱脚のみ 図 1
	柱負け	柱頭、柱脚 図 2
通し柱	柱負け	柱頭のみ 図 3
	柱勝ち	不要 図 3※

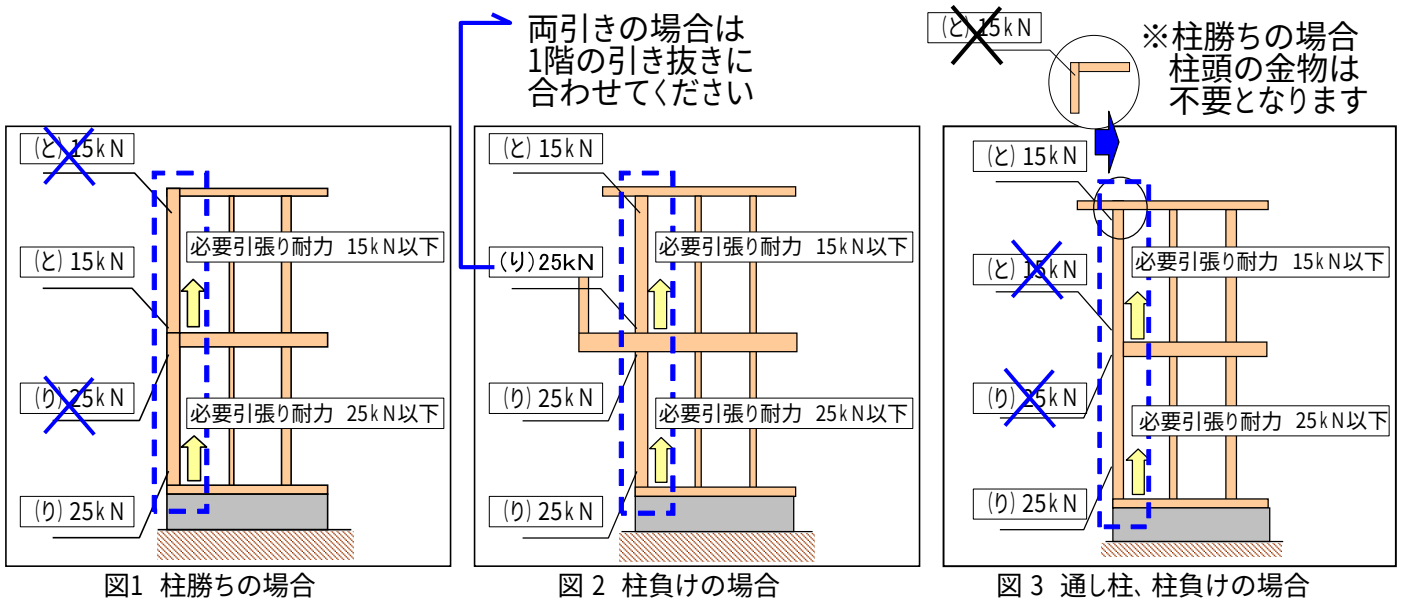


図1 柱勝ちの場合

図2 柱負けの場合

図3 通し柱、柱負けの場合

補足

【SS金物仕様では隅柱を通し柱とせずに管柱を継ぎ合わせた仕様にできる理由】

建築基準法施行令 第43条 5項では、「接合部を通し柱と同等以上の耐力を有するように補強した場合」隅柱を通し柱としなくてよいとされています。具体的な補強方法については、(財)日本住宅・木材技術センター『木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)』に「上下階の管柱を、水平力が作用した時の上下階の柱間に生じる引張力に充分抵抗できる接合耐力を有するよう補強すること。」とされています。



以上より、N値計算によって算出された引抜き力に耐え得るSS金物を使用して継ぎ合わせた管柱は通し柱の代わりとすることができます。

様邸 耐震等級チェックシート

耐震等級 3

物件情報

階数	1
最深積雪量	30 cm
地域地震係数	1
屋根勾配	1階:1.6/5.4寸
床面積	1階 125.9 m ²
	2階 0 m ²
	合計 125.9 m ²

※耐震等級が「2」又は「3」の場合、
上記の床面積は性能表示の壁量計算用の
床面積を表示しています。
基準法の床面積と異なります。

チェック内容

建築基準法令46条壁量計算

2階	X軸方向	-	Y軸方向	-
1階	X軸方向	OK	Y軸方向	OK

性能表示壁量計算

2階	X軸方向	-	Y軸方向	-
1階	X軸方向	OK	Y軸方向	OK

耐力壁線チェック

2階	X軸方向	-	Y軸方向	-
1階	X軸方向	OK	Y軸方向	OK

床倍率チェック

OK

接合部チェック

床梁・小屋梁の継手・仕口	OK
柱頭・柱脚の接合部	OK
胴差と通柱の接合部	OK

注1)この用紙に記載されている内容は、当社オリジナルシステムにて作成したものであり、性能評価機関の行う性能評価ではありません。

性能評価機関の性能評価をご希望される場合は性能評価機関へ申請を行ってください。

注2)契約後プランを修正した場合、ここに記載されている性能を保証するものではありません。

住宅性能表示【構造の安定に関すること】壁量規定等による適合判定
「階数が2以下の木造の建築物における基準」による

壁量等計算表

建物諸元

一般地域

建物名称	小畑 隆範・小畑 愛様邸	
平面単位モジュール(cm)	91	
階数	1	
最深積雪量 Hs(cm)	30.0	
地震地域係数 Z	1.0	
地域風速 Vo(m/s)	-	
屋根勾配	1階:1.6/5.4寸	
軸組階高(cm)		
	1 階	288.0
	2 階	
横架材間寸法(cm)		
	1 階	277.5
	2 階	
天井高(cm)		
	1 階	240.0
	2 階	
開口高さ(cm)		
断面二次半径 i(mm) 柱105角(120角)		
	1 階	30.31(34.64)
	2 階	-
有効細長比 λ 柱105角(120角)	$\lambda = L/i \leq 150$	
有効座屈長さL(mm)	$L \leq 4546(5196)$	
	1 階	2775
	2 階	-
	∴1.2階共有効細長比 ≤ 150	
床面積		
	1 階(m ²)	125.90
	2 階(m ²)	0.00
	延床面積(m ²)	125.90
目標等級		
耐震等級(倒壊防止・損傷防止)	3	
耐風等級	1	
耐積雪等級		

■耐風等級1の場合は地域風速は表記しておりません

■計算上準拠した指針、基準等

- ☐ 建築基準法、施行令、告示
☐ 住宅品質確保促進法、告示
☐ 評価方法基準・技術解説
☐ 木造住宅のための構造の安定に関する基準解説書
☐ 建築技術 第616号

壁量等計算面積表

[illegible]

1階壁量計算用床面積	125.90 m ²
2階壁量計算用床面積	0.00 m ²

1階上側1/4側端部	29.62	m ²
1階上下中央部	68.73	m ²
1階下側1/4側端部	27.55	m ²
計	125.90	m ²

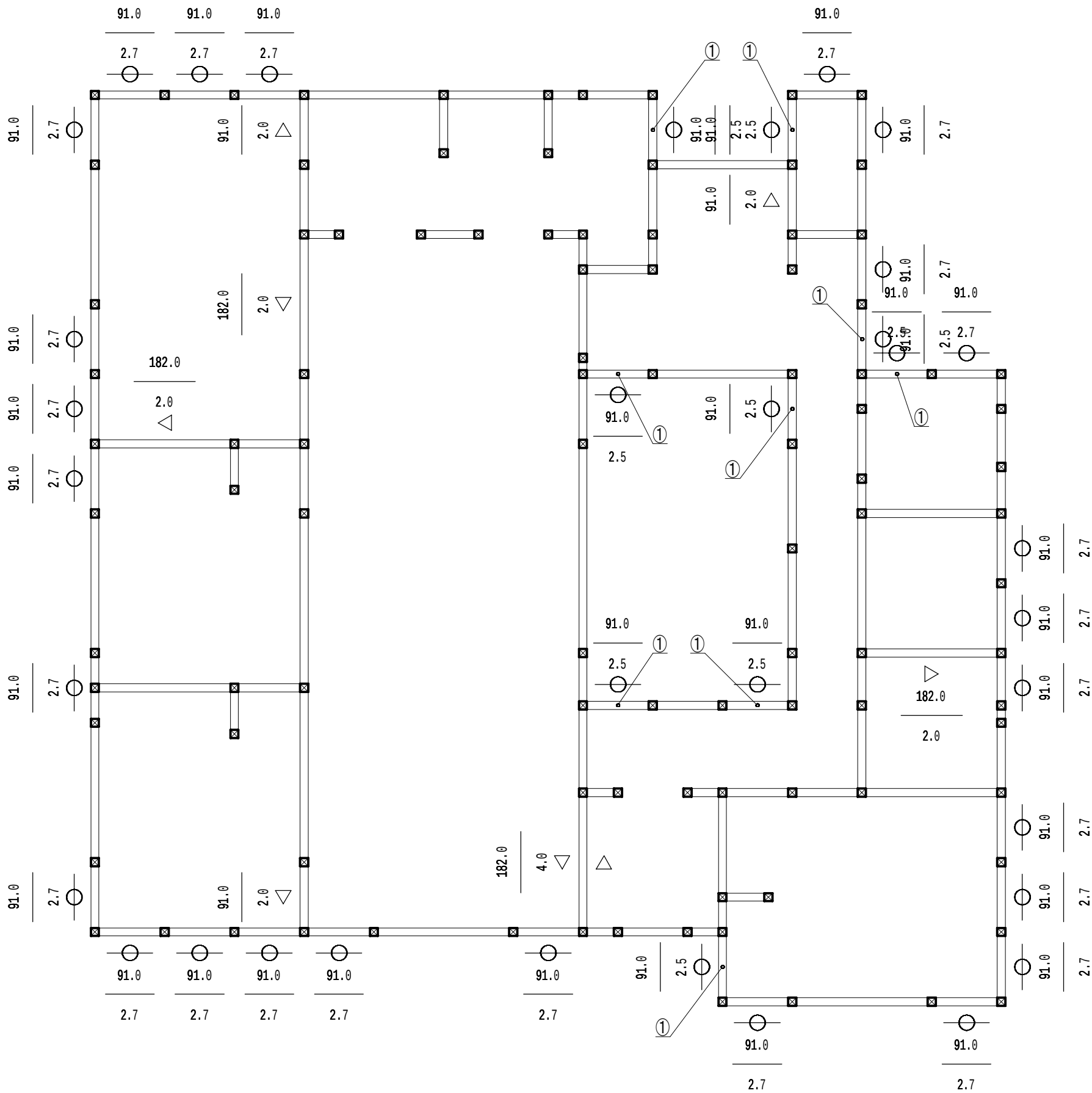
1階右側1/4側端部	28.38	m ²
1階左右中央部	65.21	m ²
1階左側1/4側端部	32.31	m ²
計	125.90	m ²

2階上側1/4側端部	m^2
2階上下中央部	m^2
2階下側1/4側端部	m^2
計	m^2

2階右側1/4側端部	m^2
2階左右中央部	m^2
2階左側1/4側端部	m^2
計	m^2

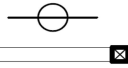
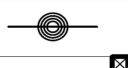
上側1/4側端面面積=左上+中上+右上部
 上下中央部面積 = 左中+中央+右中部
 下側1/4側端面面積=左下+中下+右下部

右側1/4側端部面積=右上+右中+右下部
左右中央部面積 = 中上+中央+中下部
左側1/4側端部面積=左上+左中+左下部



①：タイガーEXハイパー（直張入隅仕様）：2.5倍

特記なき外周部の構造用面材は
タイガーEXハイパー直張り仕様：2.7倍

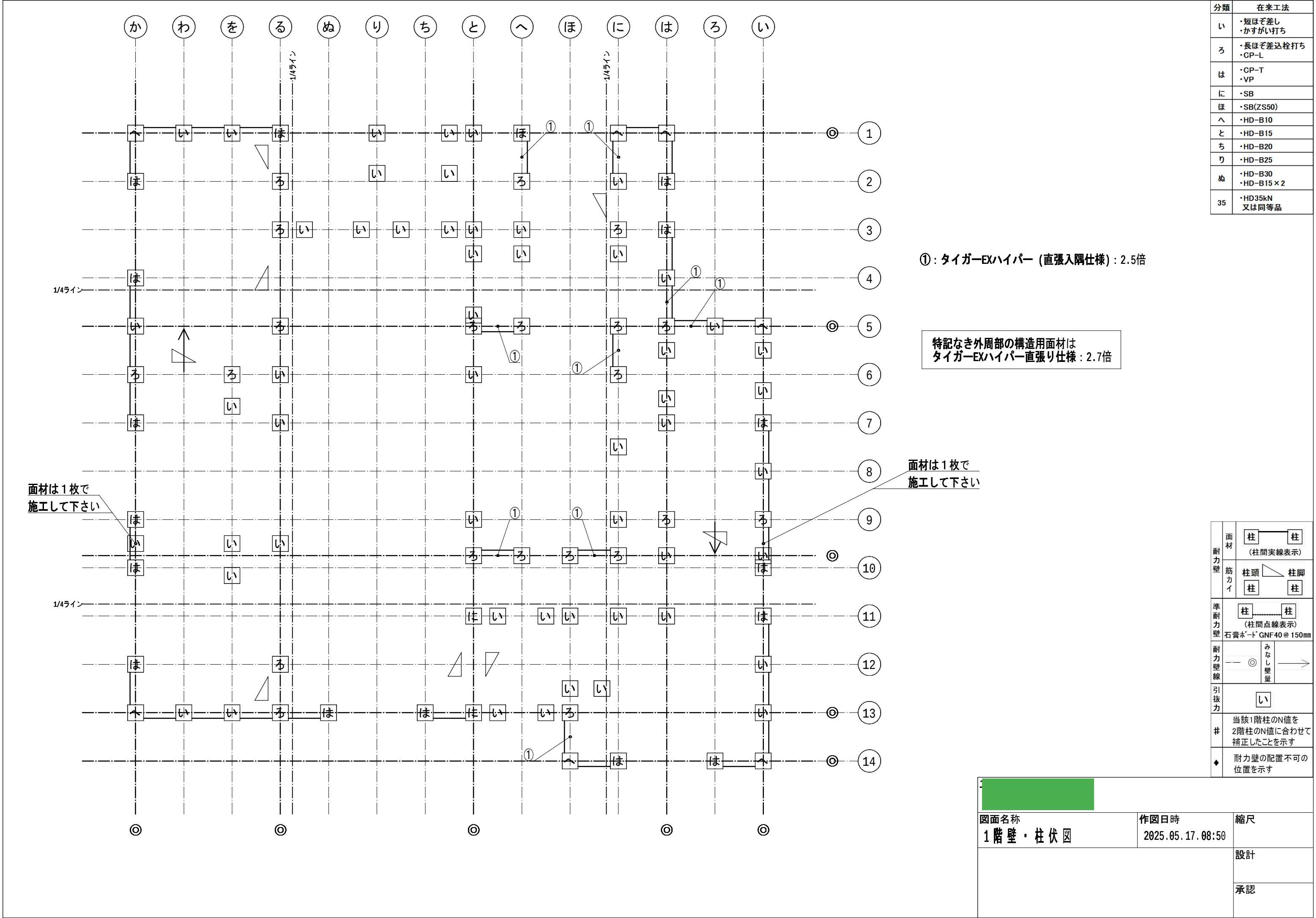
壁倍率と壁長さ
91.0
2.5
(上段)壁長さ
(下段)壁倍率
91.0
0.0(2.5)
(上段)壁長さ
(下段)壁倍率(N値計算用壁倍率)
構造用面材

壁倍率は図による
両面
構造用面材

壁倍率は図による
合板+筋カイ併用
柱頭 ◀ 柱脚

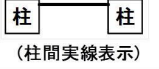
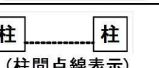
壁倍率は図による
シングル筋カイ
柱頭 ◀ 柱脚

倍率:2.0倍
倍率:1.5倍
ダブル筋カイ
柱頭 ◀ 柱脚

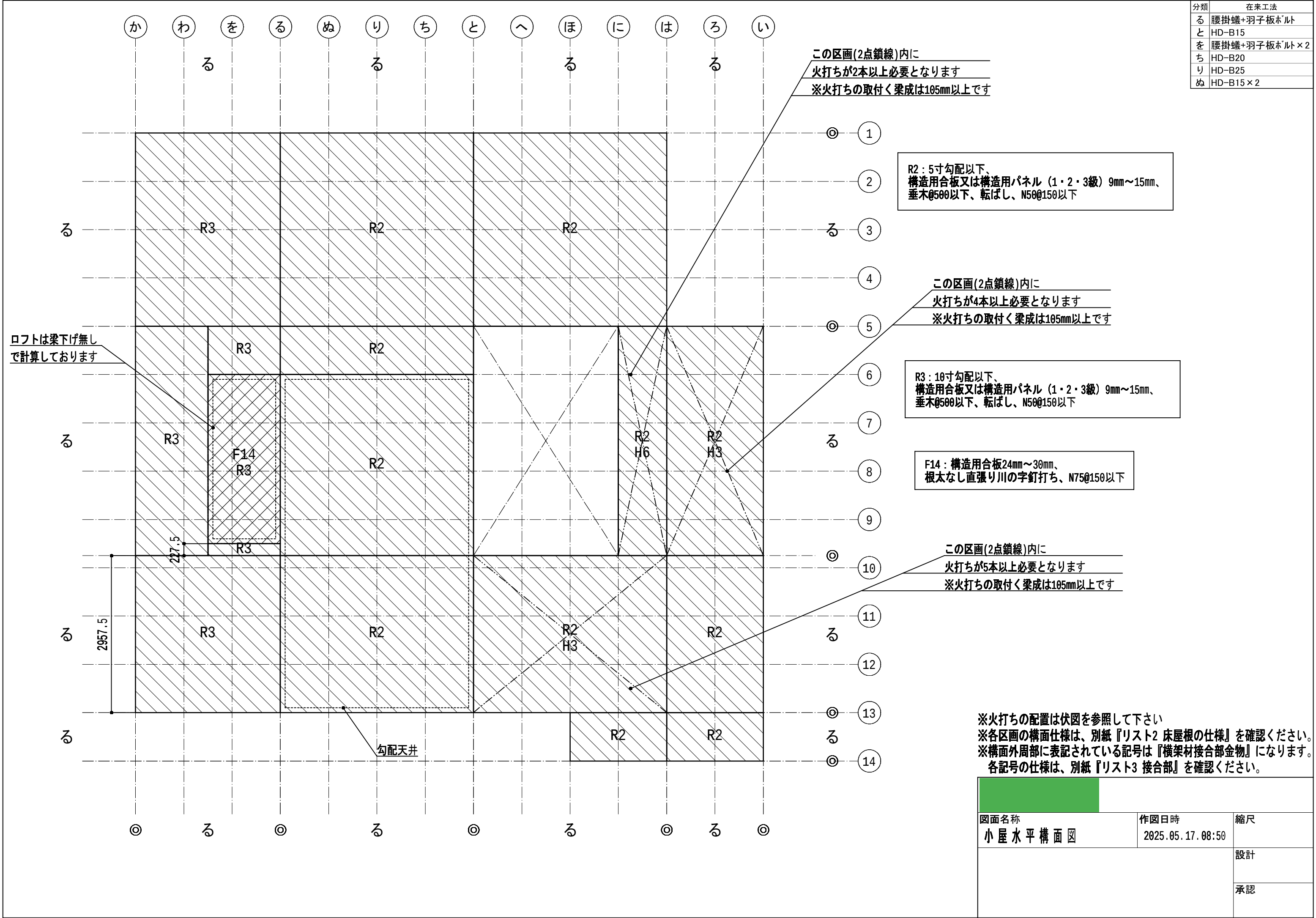
柱脚 ▶ 柱頭
倍率:4.0倍
倍率:3.0倍

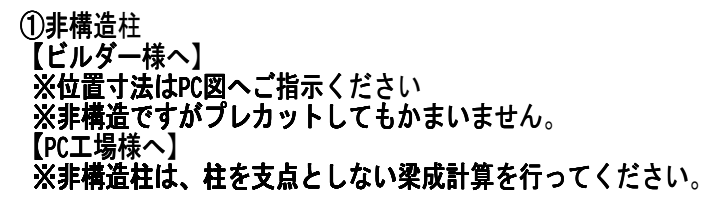
		
図面名称	作図日時	縮尺
1階壁量計算図	2025.05.17.08:50	
		設計
		承認



耐力壁	面材	 (柱間実線表示)
	筋力イ	 柱頭 柱脚 柱 柱
準耐力壁		 (柱間点線表示) 石膏ボード GNF40 @ 150mm
耐力壁線		 みなし壁量
引抜き		 い
#		当該1階柱のN値を 2階柱のN値に合わせて 補正したことを示す
◆		耐力壁の配置不可の 位置を示す

		
図面名称 1階壁・柱伏図	作図日時 2025.05.17.08:50	縮尺
		設計
		承認





柱の樹種は、KD無等級材：スギ 以上として
柱の負担面積を確認しております。
※柱の負担面積の計算に大きく影響するため
柱の樹種等級はPC工場様とのお打ち合わせにて決定ください。

【プレカット工場様各位】妻壁、棟部立上り等、
必要箇所に外壁荷重をかけて梁成計算の実施をお願いします。

		
図面名称 1階柱位置詳細図	作図日時 2025.05.17.08:50	縮尺
		設計
		承認

開口	
	※計算用の簡易表現 となっています。
	構造用面材
	
	☒ ☒
	倍率 壁量計算図参照
	両面 構造用面材
	
	☒ ☒
	倍率 壁量計算図参照
耐力壁	合板+筋カイ 併用
	柱頭 ◀ 柱脚
	☒ ☒
	倍率 壁量計算図参照
	シングル筋カイ
	柱頭 ◁ 柱脚
	☒ ☒
	倍率:2.0倍 倍率:1.5倍
	ダブル筋カイ
	柱頭 ◁ 柱脚
☒ ☒	
柱脚 ▷ 柱頭	
倍率:4.0倍 倍率:3.0倍	

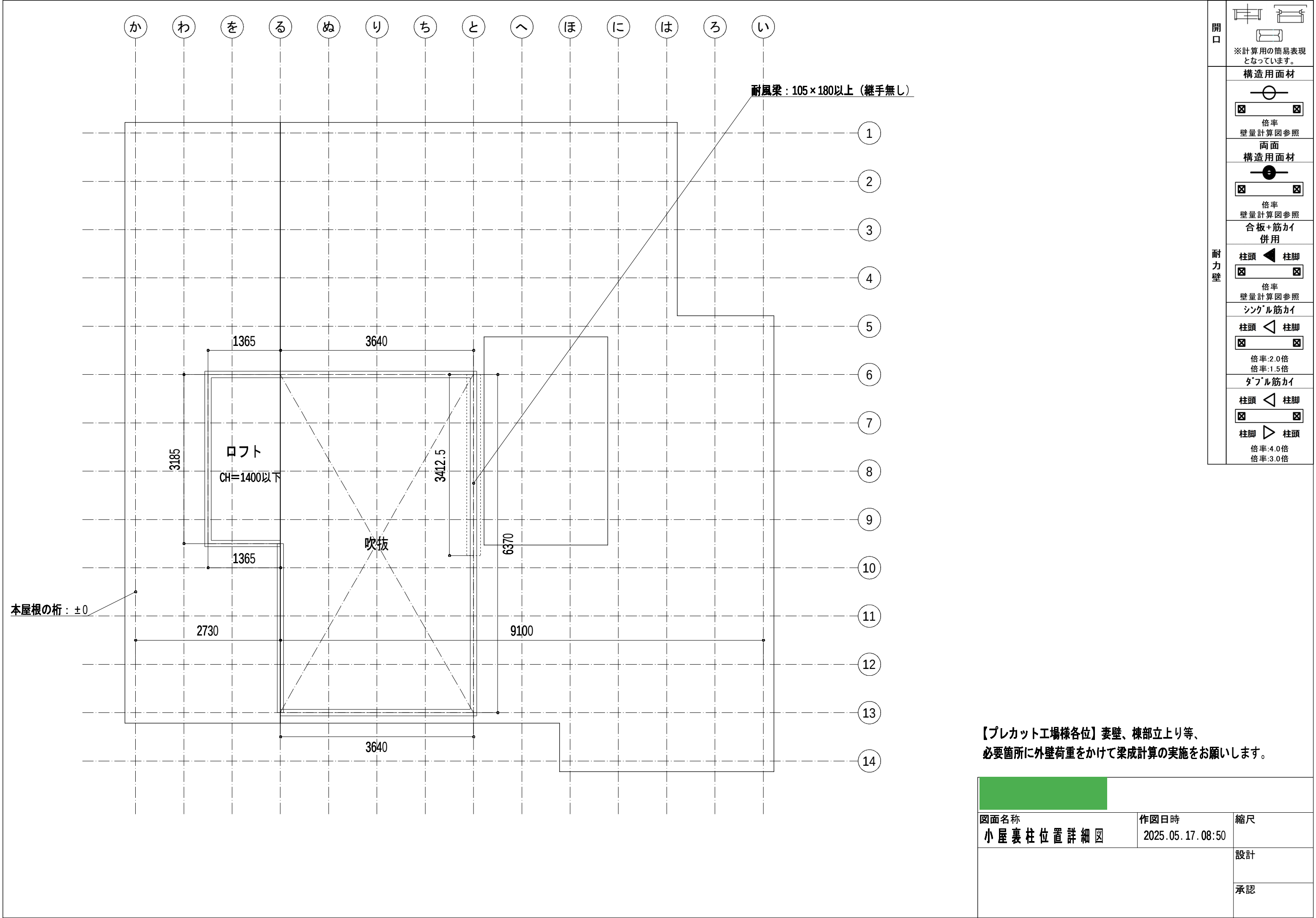


表1 令46条の壁量計算と壁の釣合よい配置のチェック 1 (X軸方向)

(1) 方向	(2) ゾ ー ン	耐力壁の存在壁量の計算				令46条の耐震壁量と釣合よい配置の計算						令46条耐風壁量計算									
		(3) 種類	(4) 壁倍率	(5) 壁の実 長 (cm)	(6)=(4) × (5) 存在壁量 (cm)	(7) 床面積 (㎡)	(8) 床面積に 乗ずる 数値	(9)=(7) × (8) 耐震必要壁量 (cm)	(10)=(6) / (9) 壁量充足率	(11) 充足率の比 (充足率の確認)	(12) 判定	(13) 見付面積 (㎡)	(14) 見付面積 に乗ずる 数値 (cm/㎡)	(15)=(13) × (14) 耐風必要壁量 (cm)	(16)=(6) / (15) 壁量充足率	(17) 判定					
× 軸 方 向 2 階	上側 1/4					AN2=		EN2=	BN2=LN2/EN2=	BN2とBS2のうち 小さい方 大きい方	壁の釣合			WX2	LX2/WX2						
		計			LN2																
	中央					AC2=															
		計			LC2																
	下側 1/4					AS2=		ES2=	BS2=LS2/ES2=												
		計			LS2																
	合計				LX2=LN2+LC2+LS2=	A2=AN2+AC2+AS2=		E2=	B2=LX2/E2=		壁量										
× 軸 方 向 1 階	上側 1/4	構造用パネル	2.7	364	982.80	AN1=		EN1=	BN1=LN1/EN1=	BN1とBS1のうち 小さい方 大きい方	壁の釣合	43.30	50	2165.00	2.11	適					
						29.620	17	503.540	1.95												
		計			LN1 982.80																
	中央	構造用パネル	2.7	91	245.70	AC1=					0.53 (両端端部 > 1)										
		構造用パネル	2.5	364	910.00																
		木製筋違 45 × 90	2	364	728.00																
						68.730															
		計			LC1 1883.70																
	下側 1/4	構造用パネル	2.7	637	1719.90	AS1=		ES1=	BS1=LS1/ES1=												
						27.550	17	468.350	3.67												
		計			LS1 1719.90																
	合計				LX1=LN1+LC1+LS1=	A1=AN1+AC1+AS1=		E1=	B1=LX1/E1=		壁量 適										
					4586.40	125.90	17	2140.30	2.14												

表1 令46条の壁量計算と壁の釣合よい配置のチェック2 (Y軸方向)

(1) 方向	(2) ゾ ー ン	耐力壁の存在壁量の計算				令46条の耐震壁量と釣合よい配置の計算						令46条耐風壁量計算				
		(3) 種類	(4) 壁倍率	(5) 壁の実 長 (cm)	(6)=(4)×(5) 存在壁量 (cm)	(7) 床面積 (㎡)	(8) 床面積に 乗ずる 数値	(9)=(7)×(8) 耐震必要壁量 (cm)	(10)=(6)/(9) 壁量充足率	(11) 充足率の比 (充足率の確認)	(12) 判定	(13) 見付面積 (㎡)	(14) 見付面積 に乗ずる 数値 (cm/㎡)	(15)=(13)×(14) 耐風必要壁量 (cm)	(16)=(6)/(15) 壁量充足率	(17) 判定
Y 軸 方 向 2 階	左側 1/4					AW2=		EW2=	BW2=LW2/EW2=	BW2とBE2のうち 小さい方 大きい方	壁の釣合			WY2	LY2/WY2	
		計			LW2											
	中央					AC2=										
		計			LC2											
右側 1/4					AE2=		EE2=	BE2=LE2/EE2=								
	計			LE2												
合計				LY2=LW2+LC2+LE2=	A2=AW2+AC2+AE2=		E2=	B2=LY2/E2=		壁量						
Y 軸 方 向 1 階	左側 1/4	構造用パネル	2.7	546	1474.20	AW1=		EW1=	BW1=LW1/EW1=	BW1とBE1のうち 小さい方 大きい方	壁の釣合			WY1	LY1/WY1	
		木製筋違 45× 90	2	364	728.00											
		計			LW1 2202.20											
	中央	構造用パネル	2.5	182	455.00	AC1=				0.68						
		木製筋違 45× 90 (たすき)	4	182	728.00											
		計			LC1 1183.00											
	右側 1/4	構造用パネル	2.7	728	1965.60	AE1=		EE1=	BE1=LE1/EE1=							
		構造用パネル	2.5	273	682.50											
		木製筋違 45× 90	2	91	182.00											
		計			LE1 2830.10											
合計				LY1=LW1+LC1+LE1=	A1=AW1+AC1+AE1=		E1=	B1=LY1/E1=		壁量						
					6215.30	125.90	17	2140.30	2.90		適					

表3 性能表示基準の壁量計算表

(1) 方向・階	存在壁量計算					地震に対する必要壁量計算				耐震等級		風に対する必要壁量計算			耐風等級		
	(2) 耐力壁の存在壁量 (cm)= 表1の(6)	準耐力壁等の存在壁量計算		(4) 雑壁倍率 =表2の(8)	(5) 壁の実長 (cm)	(6)= (4)×(5) 存在壁量 (cm)	(7)= (2)+(6)計 全体の存在壁量 (cm)	(8) 床面積 (㎡)= 表1の(7)	(9) 床面積に乘ずる数 値	(10)= (8)×(9) 必要壁量 (cm)	(11)= (7)/(10) 壁量充足率	(12) 等級判定 (11)≥1.0 なら 適	(13) 見付面積 (㎡)= 表1の(13)	(14)= 単位面積あたりの必要 壁量 (cm/㎡)※1	(15)= (13)×(14) 必要壁量 (cm)	(16)= (7)/(15) 壁量充足率	(17) 等級判定 (16)≥1.0 なら 適
X 軸 方 向 2 階							0.00										
		計															
X 軸 方 向 1 階	4586.40					4586.40	125.90	26.00	3273.40	1.40	適						
		計															
Y 軸 方 向 2 階							0.00										
		計															
Y 軸 方 向 1 階	6215.30					6215.30	125.90	26.00	3273.40	1.89	適						
		計															

※1 (14)は、地域の基準風速V0(m/s)により、以下の値を用いる。V0=30の時(14)=53、V0=32の時(14)=60、V0=34の時(14)=67、V0=36の時(14)=76、V0=38の時(14)=84、V0=40の時(14)=93、V0=42の時(14)=103、V0=44の時(14)=113、V0=46の時(14)=123

表7-2 N値計算による柱頭柱脚の接合部チェック

柱座標	1階 N値計算式と接合部金物	2階 N値計算式と接合部金物
ほ 14	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.8) \times 2.7 / 2.7 - 0.4 = 1.76$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.8$ (出隅)、 $L = 0.4$ (出隅) $H1 = 2.7$ ※ $N_x > N_y$ なので $N_x = N$ とする 金物仕様 へ HD-B10又は同等品	金物仕様
に 14	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
ろ 14	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
い 14	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.8) \times 2.7 / 2.7 - 0.4 = 1.76$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.8$ (出隅)、 $L = 0.4$ (出隅) $H1 = 2.7$ 金物仕様 へ HD-B10又は同等品	金物仕様
か 13	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.8) \times 2.7 / 2.7 - 0.4 = 1.76$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.8$ (出隅)、 $L = 0.4$ (出隅) $H1 = 2.7$ 金物仕様 へ HD-B10又は同等品	金物仕様
わ 13	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (0.0 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = -0.6$ $A1 = 2.7 - 2.7 + 0.0 = 0.0$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 い 短ぼぞ差し又はかすがい打ち又は同等品	金物仕様
を 13	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (0.0 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = -0.6$ $A1 = 2.7 - 2.7 + 0.0 = 0.0$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 い 短ぼぞ差し又はかすがい打ち又は同等品	金物仕様
る 13	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.0 + 0.5 = 2.5$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 ろ 長ぼぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
ぬ 13	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
ち 13	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様

※当階および上階に取付く耐力壁の存在しない柱は $N=0$ となるので、記載しておりません。

表7-2 N値計算による柱頭柱脚の接合部チェック

柱座標	1階 N値計算式と接合部金物	2階 N値計算式と接合部金物
と 13	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (4.0 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 1.4$ $A1 = 4.0 + 0.0 = 4.0$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ ※ $N_x < N_y$ なので $N_y = N$ とする 金物仕様 に SB・F又はS又は同等品	金物仕様
ほ 13	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.5 + 0.0 = 2.5$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
い 13	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (0.0 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = -0.6$ $A1 = 2.7 - 2.7 + 0.0 = 0.0$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 い 短ほぞ差し又はかすがい打ち又は同等品	金物仕様
か 12	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
る 12	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (1.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.15$ $A1 = 2.0 - 0.5 = 1.5$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
い 12	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (0.0 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = -0.6$ $A1 = 2.7 - 2.7 + 0.0 = 0.0$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 い 短ほぞ差し又はかすがい打ち又は同等品	金物仕様
と 11	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (4.0 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 1.4$ $A1 = 4.0 + 0.0 = 4.0$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 に SB・F又はS又は同等品	金物仕様
い 11	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
か 10	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
い 10	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様

※当階および上階に取付く耐力壁の存在しない柱は $N=0$ となるので、記載しておりません。

表7-2 N値計算による柱頭柱脚の接合部チェック

柱座標	1階 N値計算式と接合部金物	2階 N値計算式と接合部金物
と 9.5	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.5 + 0.0 = 2.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
へ 9.5	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.5 + 0.0 = 2.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
ほ 9.5	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.5 + 0.0 = 2.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
に 9.5	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.5 + 0.0 = 2.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
か 9	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
は 9	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (1.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.15$ $A1 = 2.0 - 0.5 = 1.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
い 9	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.0 + 0.5 = 2.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
い 8	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (0.0 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = -0.6$ $A1 = 2.7 - 2.7 + 0.0 = 0.0, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 い 短ほぞ差し又はかすがい打ち又は同等品	金物仕様
か 7	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
い 7	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様

※当階および上階に取付く耐力壁の存在しない柱はN=0となるので、記載しておりません。

表7-2 N値計算による柱頭柱脚の接合部チェック

柱座標	1階 N値計算式と接合部金物	2階 N値計算式と接合部金物
か 6	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.0 + 0.5 = 2.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
を 6	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (1.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.15$ $A1 = 2.0 - 0.5 = 1.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
に 6	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.5 + 0.0 = 2.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
か 5	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (0.0 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = -0.6$ $A1 = 2.7 - 2.7 + 0.0 = 0.0, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 い 短ほぞ差し又はかすがい打ち又は同等品	金物仕様
る 5	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.0 + 0.5 = 2.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
と 5	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.5 + 0.0 = 2.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
へ 5	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.5 + 0.0 = 2.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
に 5	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.5 + 0.0 = 2.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
は 5	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.5 + 0.0 = 2.5, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
ろ 5	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (0.2 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = -0.5$ $A1 = 2.7 - 2.5 + 0.0 = 0.2, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 い 短ほぞ差し又はかすがい打ち又は同等品	金物仕様

※当階および上階に取付く耐力壁の存在しない柱はN=0となるので、記載しておりません。

表7-2 N値計算による柱頭柱脚の接合部チェック

柱座標	1 階 N値計算式と接合部金物	2 階 N値計算式と接合部金物
い 5	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.8) \times 2.7 / 2.7 - 0.4 = 1.76$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.8$ (出隅)、 $L = 0.4$ (出隅) $H1 = 2.7$ 金物仕様 へ HD-B10又は同等品	金物仕様
か 4	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
は 4	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (0.2 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = -0.5$ $A1 = 2.7 - 2.5 + 0.0 = 0.2$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 い 短ほぞ差し又はかすがい打ち又は同等品	金物仕様
る 3	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (1.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.15$ $A1 = 2.0 - 0.5 = 1.5$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
に 3	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (1.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.15$ $A1 = 2.0 - 0.5 = 1.5$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
は 3	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
か 2	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
る 2	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (1.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.15$ $A1 = 2.0 - 0.5 = 1.5$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
へ 2	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.65$ $A1 = 2.5 + 0.0 = 2.5$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 ろ 長ほぞ差込栓打ち又はCP・L又は同等品	金物仕様
に 2	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (1.0 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = -0.1$ $A1 = 2.5 - 2.0 + 0.5 = 1.0$ 、 $B1 = 0.5$ (平部)、 $L = 0.6$ (平部) $H1 = 2.7$ 金物仕様 い 短ほぞ差し又はかすがい打ち又は同等品	金物仕様

※当階および上階に取付く耐力壁の存在しない柱はN=0となるので、記載しておりません。

表7-2 N値計算による柱頭柱脚の接合部チェック

柱座標	1 階 N値計算式と接合部金物	2 階 N値計算式と接合部金物
は 2	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
か 1	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.8) \times 2.7 / 2.7 - 0.4 = 1.76$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7, B1 = 0.8 \text{ (出隅)}, L = 0.4 \text{ (出隅)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 へ HD-B10又は同等品	金物仕様
わ 1	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (0.0 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = -0.6$ $A1 = 2.7 - 2.7 + 0.0 = 0.0, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 い 短ほぞ差し又はかすがい打ち又は同等品	金物仕様
を 1	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (0.0 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = -0.6$ $A1 = 2.7 - 2.7 + 0.0 = 0.0, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 い 短ほぞ差し又はかすがい打ち又は同等品	金物仕様
る 1	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.5) \times 2.7 / 2.7 - 0.6 = 0.75$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7, B1 = 0.5 \text{ (平部)}, L = 0.6 \text{ (平部)} H1 = 2.7$ ※ $N_x > N_y$ なので $N_x = N$ とする	
	金物仕様 は CP・T又はVP又は同等品	金物仕様
へ 1	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.5 \times 0.8) \times 2.7 / 2.7 - 0.4 = 1.6$ $A1 = 2.5 + 0.0 = 2.5, B1 = 0.8 \text{ (出隅)}, L = 0.4 \text{ (出隅)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 ほ SB・F (ZS50) 又はS (ZS50) 又は同等品	金物仕様
に 1	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.8) \times 2.7 / 2.7 - 0.4 = 1.76$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7, B1 = 0.8 \text{ (出隅)}, L = 0.4 \text{ (出隅)} H1 = 2.7$ ※ $N_x > N_y$ なので $N_x = N$ とする	
	金物仕様 へ HD-B10又は同等品	金物仕様
は 1	$N = (A1 \times B1) \times H1 / 2.7 - L = (2.7 \times 0.8) \times 2.7 / 2.7 - 0.4 = 1.76$ $A1 = 2.7 + 0.0 = 2.7, B1 = 0.8 \text{ (出隅)}, L = 0.4 \text{ (出隅)} H1 = 2.7$	
	金物仕様 へ HD-B10又は同等品	金物仕様

※当階および上階に取付く耐力壁の存在しない柱は $N=0$ となるので、記載しておりません。

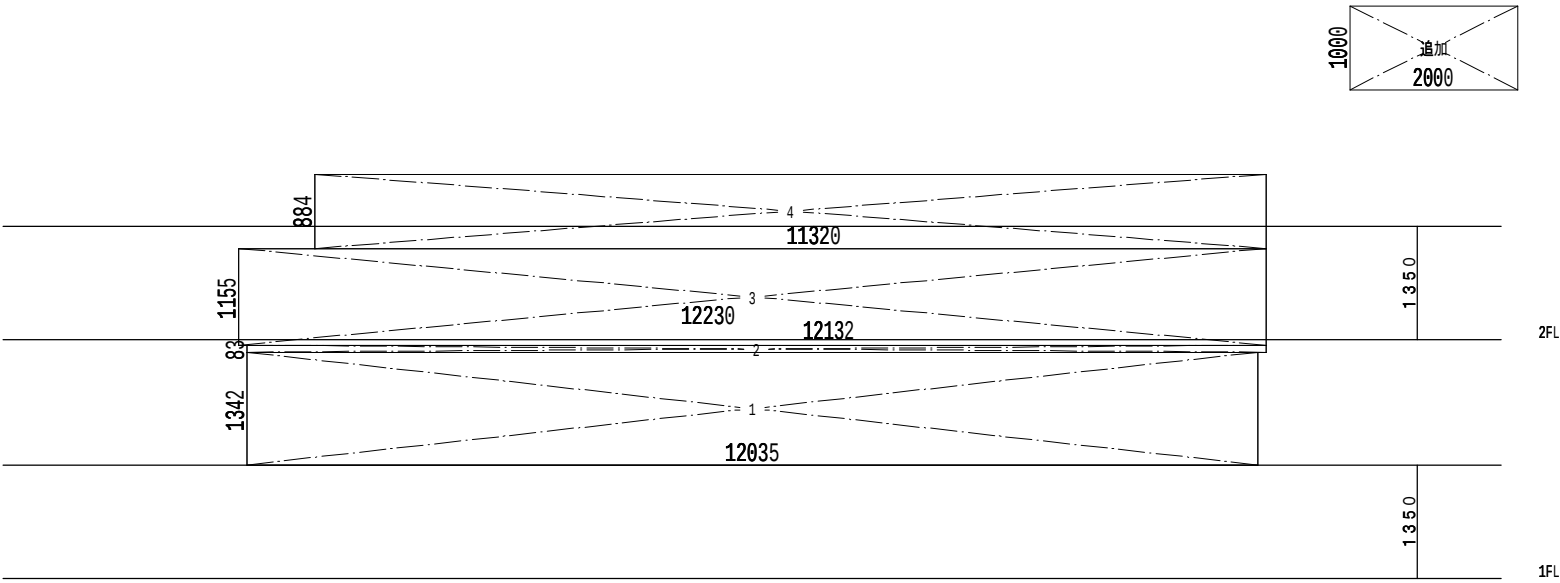
リスト2 床・屋根の仕様

[illegible]

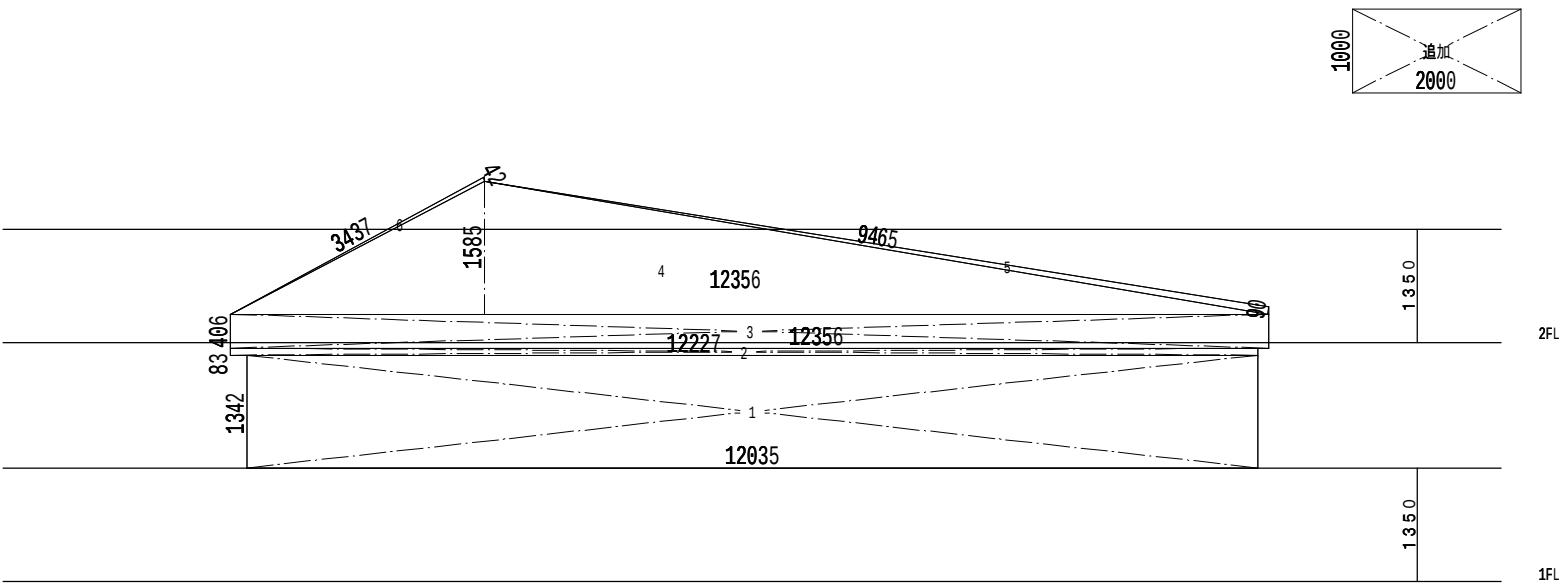
リスト3 接合部

[illegible]

X方向見付け面積図



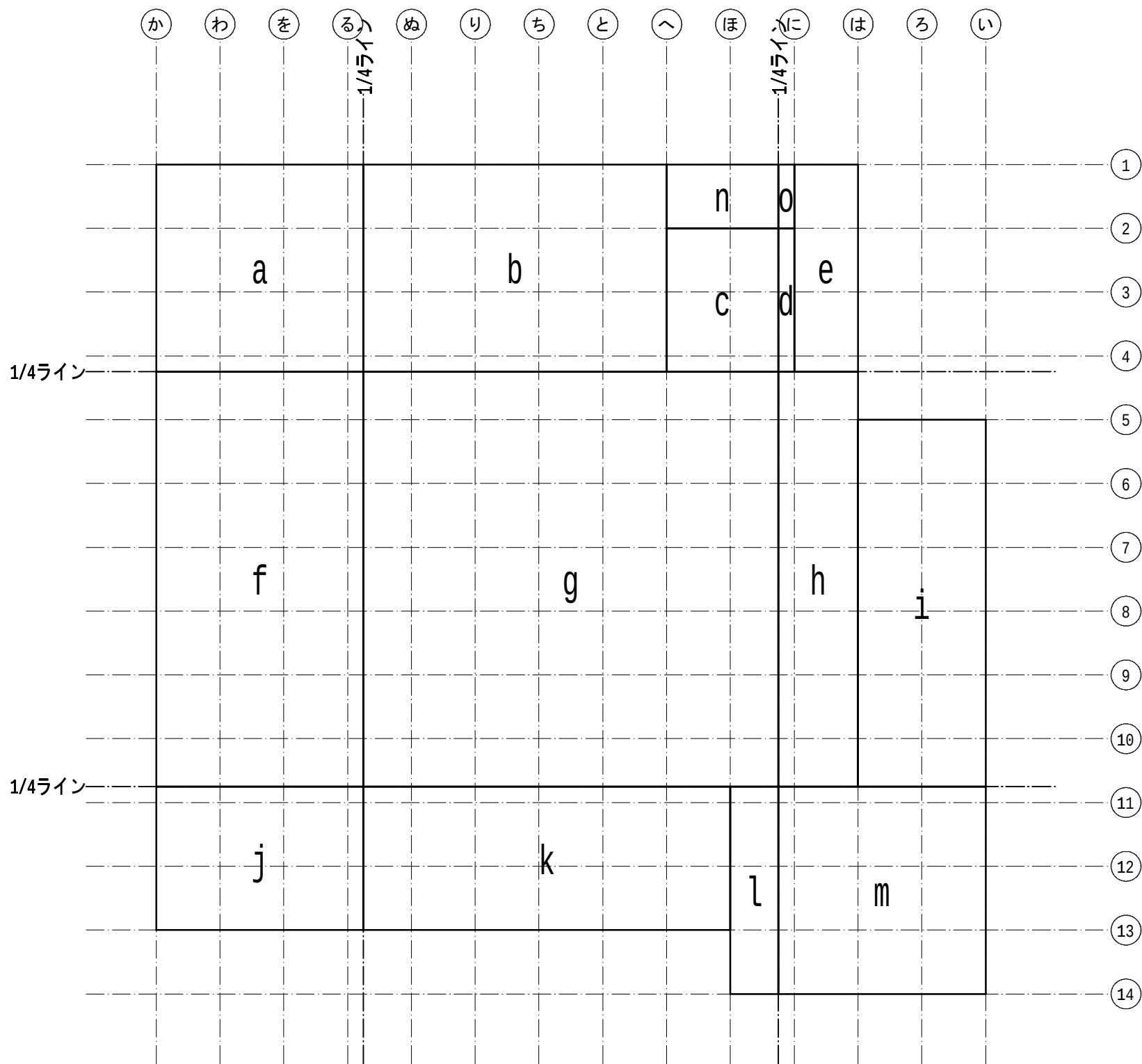
Y方向見付け面積図



●5-4-2 X方向見付面積				●5-4-3 Y方向見付面積			
2階			=	2階			=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
		2階見付面積	0.00			2階見付面積	0.00
1階	4	0.884 x 11.320	= 10.007	1階	2	0.083 x 12.227	= 1.015
	3	1.155 x 12.230	= 14.126		1	1.342 x 12.035	= 16.151
	1	1.342 x 12.035	= 16.151		3	0.406 x 12.356	= 5.017
	2	0.083 x 12.132	= 1.007		5	9.465 x 0.090 / 2	= 0.426
	追加	2.000 x 1.000	= 2.000		6	3.437 x 0.042 / 2	= 0.072
			=		4	12.356 x 1.585 / 2	= 9.792
			=		追加	2.000 x 1.000	= 2.000
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
			=				=
		合計	43.30			合計	34.48
		1階見付面積	43.30			1階見付面積	34.48

※追加 2㎡は底・シャッターボックス・出窓
棟換気の見付け面積を考慮しています。

図面名称	作図日時	縮尺
見付け面積計算表	2025.05.17.08:50	
		設計
		承認



1 階壁量等計算用求積図

図面名称 壁量等計算用求積図	作図日時 2025.05.17.08:50	縮尺
		設計
		承認